

プレスリリース
報道関係各位

2010年2月24日
株式会社日本経済新聞社

「日本経済新聞 電子版」(Web刊)創刊のお知らせ

www.nikkei.com

日本経済新聞社(代表取締役社長:喜多恒雄)は2010年3月23日に、インターネット上に「日本経済新聞 電子版」(Web刊)を創刊します。登録の受け付けは3月1日より始めます。

電子版は今年で135年目の歴史を迎える日本経済新聞社がデジタル技術を基盤にお届けする新しい媒体です。日本経済新聞の朝刊と夕刊の最終版の記事全文はもとより、日経編集局が24時間体制で取材・編集して随時更新する国内外の最新ニュース、日経BP社など日経グループ各社が集めた専門分野の情報・データやコラム・映像、英フィナンシャル・タイムズなど有力な海外コンテンツパートナーの翻訳記事を厳選して配信します。朝刊と夕刊の間でも最新情報を刻々と編集して読者に届ける意味合いを込めて愛称を「Web刊」としました。また、一人ひとりの読者の興味や関心を分析して適切な記事を選んで届ける「おすすめ」機能、登録したキーワードを含む記事が配信されると自動表示する「自動記事収集」をはじめとする「My日経」機能など、デジタル技術を活用した新しい記事の読み方も提案します。パソコンと携帯電話機で利用でき、電子書籍端末やデジタルテレビでの提供も検討していきます。

「日本経済新聞 電子版」(Web刊)は日本最大級のアクセス数があるニュースサイト「NIKKEI NET(日経ネット)」を継承し発展させるもので、無料でも利用できますが、すべてのコンテンツや機能を開覧・利用するには毎月の購読料がかかる有料会員になる必要があります。本格的な有料のインターネットメディアを通じ、良質なジャーナリズムの維持・発展に努めるとともに、新聞事業の更なる拡大を目指してまいります。

「日本経済新聞 電子版」の概要

- | | |
|-----------|---|
| ■ サービス開始日 | 2010年3月23日(火) 登録受け付けは3月1日(月)から |
| ■ サービス名 | 日本経済新聞 電子版(Web刊) |
| ■ 内容 | 日本経済新聞朝刊・夕刊の記事全文、24時間体制で更新する国内外のニュースや特集、日経グループ各社が提供する専門情報やデータ、映像 |
| ■ URL | http://www.nikkei.com |
| ■ 利用機器 | パソコン、携帯電話機、携帯端末など |
| ■ 購読料 | 日経新聞定期購読者 月額1,000円(税込み)
(総額は朝・夕刊セット版地域5,383円、全日版地域4,568円)
電子版のみの購読者 月額4,000円(税込み) |
| ■ 申し込み方法 | パソコン上の日経電子版サイトから |
| ■ 運営 | 株式会社日本経済新聞社 |

「日本経済新聞 電子版」創刊の背景

本格的なグローバル経済時代を迎え、ビジネスの世界を中心に国内外の最新情報をいつでもどこでも手にしたいニーズが高まっています。インターネット革命は情報の爆発的な流通を促しましたが、必要かつ信頼できる情報を探し出す作業は容易ではありません。次世代を担う若年層の中には紙に印刷された記事を読むよりも、映像視聴やデータ取得のほか読者投稿も簡単にできるインターネットでのコンテンツ閲覧を好む傾向も見受けられます。

日本経済新聞社はこうした要望や環境変化にこたえ、21世紀の新しいメディアとして「日本経済新聞 電子版」を創刊します。コンテンツの質や魅力を高める一方で、読者のビジネスシーンやライフスタイルにあわせたコンテンツの読み方や使い方を提案し、仕事や生活に役立つメディアとなります。

「日本経済新聞 電子版」のコンテンツと機能

《コンテンツ》

- Web 刊 朝刊と夕刊の合間に何度も最新の出来事を時々刻々と編集して届けるサービスです。「その時点」で重要と判断するニュースや読み物を 5-10 本程度選んだうえで、関連記事や解説、写真や図表、関連リンクなどと組み合わせて立体的に編集します。
- 朝刊・夕刊 日本経済新聞の朝刊・夕刊最終版の記事全文が読めます。紙面イメージをそのまま表示する「紙面ビューアー」と対比させながら記事の価値付けが分かる工夫を凝らしました。過去1週間分の記事を提供します。
- ビジネスリーダー ビジネスパーソンに役立つ選りすぐりの情報を、日経編集局、日経グループ各社、海外有力メディアなどから集めてコンパクトにまとめました。日経の編集委員が様々な切り口から読んでおくべき記事を解説するほか、新製品・価格情報や開発の舞台裏も掲載します。
- マネー 株式投資情報や資産形成に役立つ情報を幅広く提供します。株価情報やマネープランを届ける「ベーシック」、上場企業の決算・財務情報を網羅する「日経会社情報」や投資に有益な市場・企業ニュースを掲載する「マーケット online」、QUICK が国内外の株価、為替、金利、商品などデータを提供する「世界の市況」の3つのコーナーで構成します。
- テクノロジー IT(情報技術)をはじめとする幅広い技術分野の情報を提供します。日経 BP 社と連携し、IT 業界の動向、話題のテクノロジーの解説、技術から経営をとらえる読み物などをそろえました。
- ライフ 演劇や音楽のレビュー、話題の本の書評、家計や社会保障制度の解説、健康や医療に関する情報、暮らしの知恵、旅やグルメの話題など、オフタイムに役立つ情報を提供します。
- スポーツ 米大リーグ、欧州サッカー、米ゴルフツアーなど人気の海外スポーツのほか、プロ野球、プロサッカーなどに関するコラムを、日本経済新聞の編集委員や外部の専門ライターが執筆します。

《機能》

- My日経 一人ひとりの目的や関心に応じて電子版を活用しやすくするパーソナライズ機能です。
 - おすすめ 今までに読んだ記事や、登録した興味・関心分野を分析し、利用者それぞれに対しておすすめ(リコメンド)記事を自動的にピックアップして提供する機能です。
 - 自動記事収集 利用者が登録したキーワードを含む記事を自動収集する機能です。
 - 記事の保存 利用者が記事を保存・整理しておく「日本経済新聞 電子版」内のスクラップブックです。100本まで保存できます。
 - 最近読んだ記事 最近読んだ記事の履歴が記録される、自分の「足あと」を確認できる機能です。検索機能を使わなくても、記事を読み直せます。
 - ワードロボ 「日本経済新聞 電子版」の中で注目されているキーワードを分析して視覚化する機能です。キーワード同士の関連性をマップとして描き、そのキーワードが含まれる記事の一覧を表示します。
 - Myガジェット 頻繁に閲覧するコンテンツ・機能に対するショートカット機能で、携帯電話機向けサービスと連動します。必要な情報にすばやくアクセスするための機能です。
- 記事検索(*) 日本経済新聞の朝刊・夕刊記事や「日本経済新聞 電子版」に掲載した記事のほか、人事情報、株価が検索できる機能です。
- ミニ解説 記事中の上場企業名や経済・時事用語をクリックすると、解説がポップアップで表示される機能です。記事の理解を助けるツールとなります。
- 映像・写真 紙の新聞では表現できなかった動画や豊富な写真を提供します。テレビ東京などが映像を提供します。
- 読者投稿 旬のテーマや話題の記事について、読者の投稿を受け付けます。

(*)記事検索は過去5年分の記事が対象です。検索結果の見出し表示に制限はありませんが、月々の記事本文の閲覧本数が一定数を超えると、閲覧記事1本ごとに別途追加料金が発生します。また、詳細な人事データベースの検索は、見出し閲覧は購読料に含まれますが、本文閲覧には別途追加料金がかかります。

読者のカテゴリーとビジネスモデル

「日本経済新聞 電子版」は購読料を支払う「購読者(有料会員)」、会員登録だけする「登録読者(登録会員)」、それ以外の「一般読者」の3つの読者カテゴリーを対象にしたサービスです。記事には購読者限定の記事と一般読者も読める記事の2種類があります。携帯電話機向けサービスや記事検索などの機能は購読者のみが利用できます。登録読者になると購読者限定の記事が一定本数まで読めるほか、便利な機能の一部も利用できます。

画面イメージは <http://pr.nikkei.com/press/>からダウンロードできます。